第７章　コミュニケーション

１　日中独居

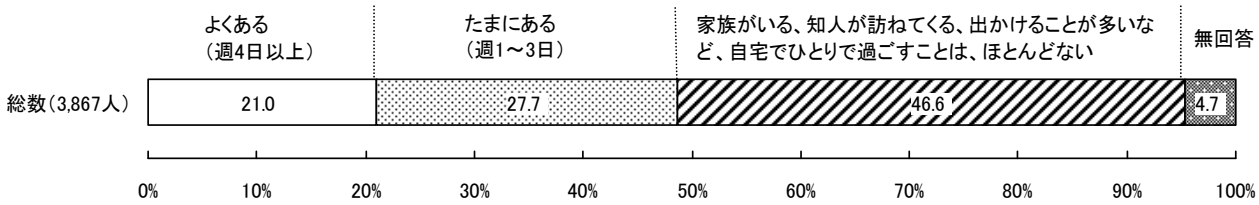
(1)　日中独居

日中自宅でひとりになることが「よくある（週４日以上)」割合は、約２割

家族と同居している人（3,867 人）に、日中、自宅でひとりになることがどの程度あるか聞いたところ、日中自宅でひとりになることが「よくある（週 4 日以上)」割合は 21.0%となっている。(図 7-1)

問　ご家族が日中外出している（仕事や学校等）ため不在になり、日中、自宅でひとりになることはどのくらいありますか。

図 7-1　日中独居



（注）　集計対象は、現在家族と同居している高齢者 3,867 人

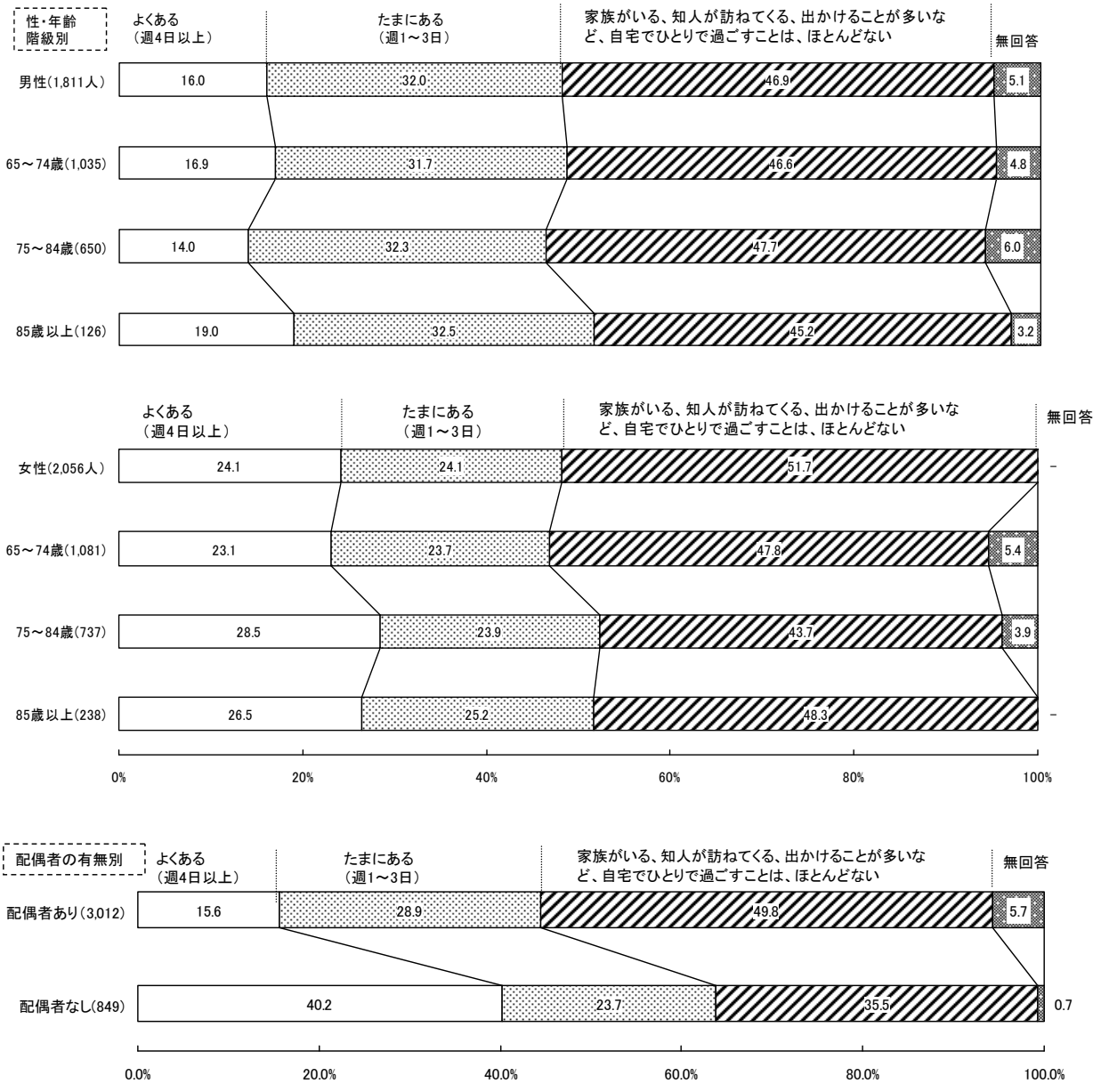
(2)　日中独居ー性・年齢階級、配偶者の有無別

配偶者なしの人は、日中自宅でひとりになることが「よくある（週 4 日以上）」割合が最も高く、約 4 割

日中、自宅でひとりになることがどの程度あるかについて、性別に見ると、男女とも「家族がいる、知人が訪ねてくる、出かけることが多いなど、自宅でひとりで過ごすことは、ほとんどない」の割合が最も高く、それぞれ 46.9%、51.7%となっている。

配偶者の有無別に見ると、配偶者ありの人は、「家族がいる、知人が訪ねてくる、出かけることが多いなど、自宅でひとりで過ごすことは、ほとんどない」の割合が最も高く、49.8%となっている。一方、配偶者なしの人では、「よくある（週 4 日以上）」が最も高く、40.2%となっている。(図 7-2)

図 7-2　日中独居ー性・年齢階級、配偶者の有無別



2　外出の頻度

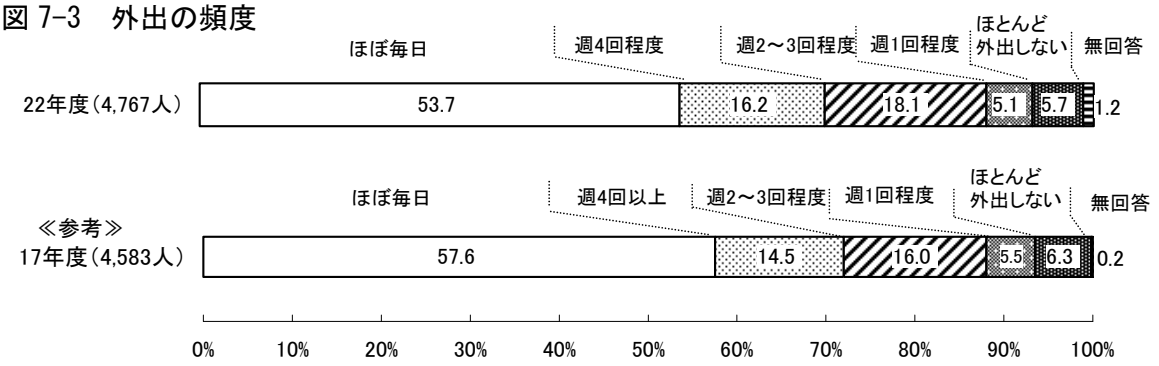
(1)　外出の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く、約5割

通常、どれくらいの頻度で外出するかを聞いたところ、「ほぼ毎日」の割合が最も高く53.7%、次いで「週2～3回程度」が18.1%となっている。(図7-3)

問　あなたは通常どれくらいの頻度で外出しますか。

図7-3　外出の頻度



(注) 17年度調査では、選択肢を「週4回以上」としている。

(2)　外出の頻度－性・年齢階級別

「ほぼ毎日」の割合は、男性は58.1%、女性が50.4%で、男性の方が高い割合となっている

通常、どれくらいの頻度で外出するかを性別で見ると、「ほぼ毎日」の割合は、男性は58.1%、女性が50.4%で、男性の方が高い割合となっている。

また、年齢階級別に見ると、年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなり、85歳以上では、23.4%で2割を超えている。(表7-1)

表7-1　外出の頻度－性・年齢階級別

		総数	ほぼ毎日	週4回程度	週2～3回程度	週1回程度	ほとんど外出しない	無回答
総数		100.0 4,767	53.7	16.2	18.1	5.1	5.7	1.2
性別	男	100.0 (2,057)	58.1	14.6	16.4	4.8	5.1	1.1
	女	100.0 (2,710)	50.4	17.4	19.4	5.4	6.2	1.3
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,304)	65.2	16.1	13.2	2.8	1.5	1.2
	70～74歳	100.0 (1,237)	59.4	17.0	15.6	4.0	2.8	1.2
	75～79歳	100.0 (1,066)	52.3	18.1	18.6	5.3	4.5	1.2
	80～84歳	100.0 (695)	42.0	14.2	26.2	7.8	8.5	1.3
	85歳以上	100.0 (465)	27.3	12.9	25.2	10.3	23.4	0.9

(3) 外出の頻度－健康意識、動作能力類型、近所づきあいの程度別

「ほぼ毎日」の割合は、健康状態を「よい」と考える人の割合が最も高く、67.0%

健康意識別に見ると、「ほぼ毎日」の割合は、健康状態を「よい」と考える人の割合が67.0%で、最も高くなっている。一方、「ほとんど外出しない」割合は、健康状態を「よくない」と考える人の割合が20.1%で、最も高くなっている。

動作能力類型別で見ると、「ほぼ毎日」と「週4回程度」をあわせた割合は、比較的重い障害のある高齢者が62.4%、軽い障害のある高齢者が68.7%、障害のない高齢者が78.4%で、それぞれ6割を超えている。

近所づきあいの程度別で見ると、つきあいがない人は、「ほとんど外出しない」の割合が21.0%で、他の近所づきあいをしている人と比較して高い割合になっている。(表7-2)

表7-2 外出の頻度－健康意識、動作能力類型、近所づきあいの程度別

		総数	ほぼ毎日	週4回程度	週2～3回程度	週1回程度	ほとんど外出しない	無回答
総数		100.0 (4,767)	53.7	16.2	18.1	5.1	5.7	1.2
健康意識別	よい	100.0 (1,257)	67.0	14.6	13.5	2.1	2.0	0.8
	まあよい	100.0 (866)	58.1	17.9	18.0	3.8	1.3	0.9
	ふつう	100.0 (1,384)	55.3	17.8	17.9	4.4	3.4	1.1
	あまりよくない	100.0 (833)	39.1	16.3	25.0	9.1	8.6	1.8
	よくない	100.0 (189)	36.0	9.0	19.0	13.8	20.1	2.1
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	11.7	9.2	25.2	13.2	39.4	1.2
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	42.0	20.4	24.0	6.7	5.5	1.4
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	51.2	17.5	20.6	6.5	2.9	1.2
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	62.3	16.1	15.3	3.2	2.1	1.0
近所づきあいの程度別	お互いに訪問し合う人がいる	100.0 (1,090)	61.7	13.9	15.6	4.6	3.2	1.0
	立ち話をする程度の人がいる	100.0 (1,866)	57.8	17.3	16.9	3.9	3.3	0.8
	あいさつをする程度の人がいる	100.0 (1,370)	48.2	17.7	20.9	6.1	6.4	0.8
	つきあいがない	100.0 (395)	34.2	13.4	21.3	9.1	21.0	1.0

3　交流の頻度

(1)　交流の頻度

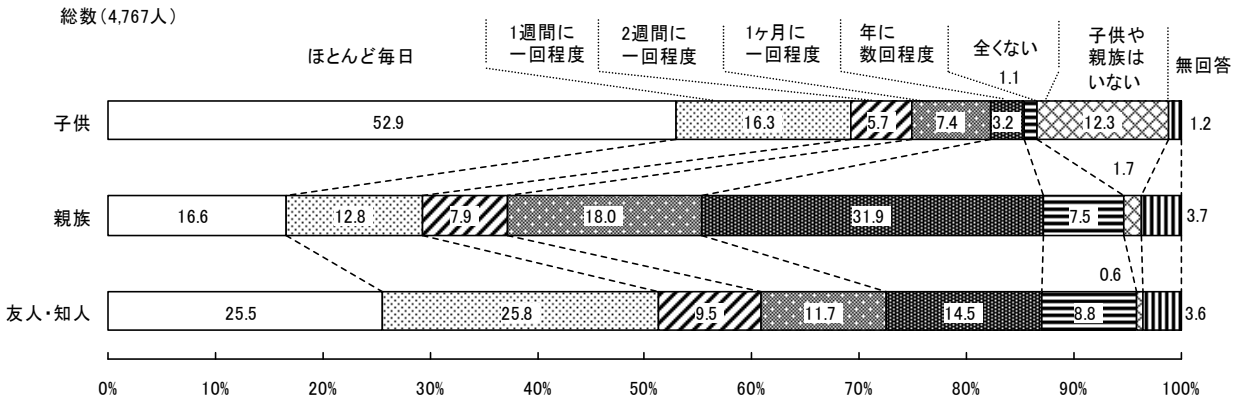
子供との交流は「ほとんど毎日」の割合が最も高く、約 5 割

通常、どれくらいの頻度で、子供、親族、友人等と交流するかを聞いたところ、子供については「ほとんど毎日」の割合が 52.9%、親族については「年に数回程度」が 31.9%で、それぞれ最も高くなっている。

友人・知人については、「1 週間に一回程度」が 25.8%、次いで「ほとんど毎日」が 25.5%となっている。(図 7-4)

問　あなたは、お子さん・兄弟などの親族・友人の方と、どれくらいの頻度で交流（話す、会う、電話、メール等）していますか。

図 7-4　交流の頻度



(2) 交流の頻度(子供)－性・年齢階級、動作能力類型別

子供と「ほとんど毎日」交流する割合は、男性より女性のほうが高く、約6割

通常、どれくらいの頻度で、子供と交流するかについて、性・年齢階級別に見ると、「ほとんど毎日」の割合が、男性 45.6%、女性 58.4%で、女性のほうが 12.8 ポイント高くなっている。特に女性の 85 歳以上は 76.0%と 7 割を超えている。

動作能力類型別見ると、ねたきり等の高齢者は、「ほとんど毎日」の割合が 63.6%で、最も高くなっている。(表 7-3)

表 7-3 交流の頻度(子供)－性・年齢階級、動作能力類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1ヶ月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族等は、いない	無回答
総数		100.0 (4,767)	52.9	16.3	5.7	7.4	3.2	1.1	12.3	1.2
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	45.6	17.9	6.6	9.8	4.1	1.6	12.9	1.5
	65～74歳	100.0 (1,191)	44.5	18.1	5.4	10.2	2.7	1.8	15.4	1.8
	75～84歳	100.0 (713)	46.0	17.7	8.1	10.1	5.9	1.5	9.7	1.0
	85歳以上	100.0 (153)	52.9	17.6	8.5	4.6	6.5	－	9.2	0.7
	女	100.0 (2,710)	58.4	15.0	5.1	5.6	2.6	0.7	11.7	0.9
	65～74歳	100.0 (1,350)	54.6	15.4	6.0	6.7	2.8	0.7	12.3	1.5
	75～84歳	100.0 (1,048)	58.0	15.7	4.9	5.4	2.7	0.7	12.2	0.5
	85歳以上	100.0 (312)	76.0	11.2	1.9	1.3	1.3	0.6	7.7	－
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	63.6	12.0	3.2	5.5	3.7	1.7	9.2	1.0
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	51.3	16.1	6.2	7.7	3.6	1.7	12.2	1.2
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	51.8	18.9	6.0	7.0	4.1	0.9	10.3	1.1
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	52.2	16.0	5.9	7.8	2.8	0.9	13.3	1.0

(3) 交流の頻度(子供)－世帯類型、子供との距離(同居・別居含む)別

別居している人は、子供との距離が遠くなるにつれて、「ほとんど毎日」の割合が低くなる

通常、どれくらいの頻度で子供と交流するかについて、世帯類型別に見ると、ひとり暮らしでは、「子供や親族等は、いない」の割合が最も高く 34.3%となっている。高齢者夫婦のみでは、「ほとんど毎日」の割合が最も高く 30.9%、高齢者のみでない世帯の夫婦のみの世帯では、「１週間に一回程度」の割合が最も高く 26.2%となっている。

子供との距離別に見ると、子供と同居している人は、「ほとんど毎日」が 92.0%で 9 割を超えている。別居している人は、子供との距離が遠くなるにつれて、「ほとんど毎日」の割合が低くなっている。(表 7-4)

表 7-4 交流の頻度(子供)－世帯類型、子供との距離(同居・別居含む)別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1ヶ月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族等は、いない	無回答
総数		100.0 (4,767)	52.9	16.3	5.7	7.4	3.2	1.1	12.3	1.2
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,634)	29.3	23.6	8.8	11.2	4.8	1.7	19.2	1.4
	ひとり暮らし	100.0 (899)	26.4	17.9	6.2	5.8	5.0	3.2	34.3	1.2
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	30.9	27.8	10.4	14.3	5.0	0.7	9.3	1.6
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	29.8	10.5	7.3	8.9	1.6	2.4	39.5	－
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	84.7	6.7	1.7	2.6	1.0	0.3	2.3	0.7
	夫婦のみ世帯	100.0 (195)	16.9	26.2	10.3	14.4	5.1	2.1	24.1	1.0
	高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (1,213)	90.8	5.0	1.1	1.6	0.7	0.1	－	0.7
	高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (166)	92.8	5.4	－	0.6	－	－	－	1.2
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (81)	95.1	1.2	－	1.2	－	1.2	－	1.2
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (358)	95.0	3.4	0.3	0.6	0.6	－	－	0.3
	その他の世帯	100.0 (84)	26.2	19.0	2.4	7.1	8.3	1.2	34.5	1.2
子供との距離別	子がいる	100.0 (4,182)	60.3	18.6	6.5	8.4	3.7	1.2	－	1.3
	同居	100.0 (1,867)	92.0	4.5	0.8	1.3	0.5	0.1	－	0.7
	別居 (同居の子はいない)	100.0 (2,315)	34.7	29.9	11.1	14.2	6.2	2.1	－	1.7
	隣	100.0 (313)	77.6	17.6	1.3	1.9	0.3	－	－	1.3
	10分くらい	100.0 (472)	49.6	33.9	7.2	5.9	1.5	0.2	－	1.7
	30分くらい	100.0 (563)	26.5	37.1	16.7	13.3	4.4	1.2	－	0.7
	1時間くらい	100.0 (534)	19.3	30.1	14.0	25.7	8.8	0.4	－	1.7
	それ以上	100.0 (380)	12.9	26.6	13.4	20.8	16.8	7.4	－	2.1
	子はいない	100.0 (584)	－	－	－	－	－	－	100.0	－

(4) 交流の頻度(親族)－性・年齢階級、世帯類型別

男女とも、どの年齢階級においても、「年に数回程度」の割合が最も高くなっている

通常、どれくらいの頻度で親族と交流するかについて、性・年齢階級別に見ると、男女とも、どの年齢階級においても、「年に数回程度」の割合が最も高くなっている(27.2%～39.9%)。

世帯類型別に見ると、高齢者のみの世帯、高齢者のみでない世帯ともに、「年に数回程度」の割合が、それぞれ 32.8%、31.7%で最も高くなっている。(表 7-5)

表 7-5 交流の頻度(親族)－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1ヶ月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族等は、いない	無回答
総数		100.0 (4,767)	16.6	12.8	7.9	18.0	31.9	7.5	1.7	3.7
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	15.1	9.9	6.3	17.3	37.4	8.4	1.9	3.7
	65～74歳	100.0 (1,191)	17.2	9.7	6.0	18.1	35.8	7.7	1.6	3.9
	75～84歳	100.0 (713)	12.1	10.7	6.6	16.0	39.7	9.0	2.5	3.5
	85歳以上	100.0 (153)	12.4	7.8	6.5	17.6	39.9	10.5	2.0	3.3
	女	100.0 (2,710)	17.7	15.0	9.1	18.6	27.7	6.8	1.5	3.6
	65～74歳	100.0 (1,350)	18.0	15.8	9.2	19.3	27.2	4.7	1.7	4.1
	75～84歳	100.0 (1,048)	18.1	14.6	9.6	18.2	27.3	7.6	1.4	3.1
	85歳以上	100.0 (312)	15.1	13.1	7.1	16.3	31.4	13.1	1.0	2.9
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,634)	13.2	12.3	8.3	18.3	32.8	8.6	2.6	3.9
	ひとり暮らし	100.0 (899)	9.1	15.6	8.3	18.7	29.1	11.8	4.3	3.0
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	13.0	10.8	8.4	18.7	35.9	6.9	1.8	4.6
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	46.0	8.1	6.5	10.5	18.5	7.3	0.8	2.4
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	19.4	14.0	7.6	17.7	31.7	6.0	0.6	2.9
	夫婦のみ世帯	100.0 (195)	13.3	10.8	6.7	21.5	37.4	6.2	1.0	3.1
	高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (1,213)	18.5	14.8	7.8	17.5	32.4	5.5	0.8	2.7
	高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (166)	19.3	13.9	7.2	17.5	29.5	6.0	－	6.6
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (81)	25.9	7.4	8.6	18.5	27.2	7.4	－	4.9
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (358)	24.3	14.8	7.3	16.5	28.5	7.3	－	1.4
	その他の世帯	100.0 (84)	53.6	4.8	3.6	11.9	15.5	7.1	－	3.6

(5)　交流の頻度(友人・知人)－性・年齢階級別

男女とも、「1 週間に一回程度」の割合が最も高く、それぞれ 23.5%、27.6%

通常、どれくらいの頻度で友人・知人と交流するかについて、性・年齢階級別に見ると、男女とも、「1 週間に一回程度」の割合が最も高く（23.5%、27.6%）、次いで、「ほとんど毎日」(23.2%、27.2%)となっている。

85 歳以上の男性では、「全くない」が 22.9%、「年に数回程度」が 22.2%、85 歳以上の女性では「全くない」が 27.6%で、他の年齢階級に比べて高い割合になっている。(表 7-6)

表 7-6　交流の頻度(友人・知人)－性・年齢階級別

			総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1ヶ月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族等は、いない	無回答
総数			100.0 (4,767)	25.5	25.8	9.5	11.7	14.5	8.8	0.6	3.6
性・年齢階級別	男		100.0 (2,057)	23.2	23.5	9.2	12.1	18.2	9.5	0.8	3.4
		65～74歳	100.0 (1,191)	28.0	24.5	9.2	11.9	16.4	5.8	0.5	3.7
		75～84歳	100.0 (713)	17.1	24.1	9.4	11.8	20.5	12.9	1.1	3.1
		85歳以上	100.0 (153)	14.4	13.1	8.5	15.0	22.2	22.9	2.0	2.0
	女		100.0 (2,710)	27.2	27.6	9.7	11.4	11.6	8.3	0.5	3.7
		65～74歳	100.0 (1,350)	31.9	28.2	10.4	12.5	9.2	3.7	0.1	3.9
		75～84歳	100.0 (1,048)	25.7	28.9	9.4	10.5	13.5	8.4	0.4	3.1
		85歳以上	100.0 (312)	11.9	20.2	7.7	9.9	15.7	27.6	2.2	4.8

(6) 交流の頻度(友人・知人)－外出の頻度、近所づきあいの程度、地域とのつながり別

ほぼ毎日外出する人は、「ほとんど毎日」の割合が最も高く 35.9%

通常、どれくらいの頻度で友人・知人と交流するかについて、外出の頻度別に見ると、ほぼ毎日外出する人は「ほとんど毎日」の割合が最も高く、35.9%となっている。

一方、ほとんど外出しない人は、「全くない」の割合が最も高く 37.6%となっている。

近所づきあいの程度別に見ると、お互いに訪問し合う人がいる人は、「ほとんど毎日」の割合が最も高く 43.1%となっている。

一方、つきあいがない人は、「全くない」の割合が最も高く 33.4%となっている。

地域とのつながり別に見ると、強くなっている、以前と変わらず強いと感じている人は、「ほとんど毎日」の割合が、それぞれ 48.6%、41.8%で 4 割を超えている。(表 7-7)

表 7-7 交流の頻度(友人・知人)－外出の頻度、近所づきあいの程度、地域とのつながり別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1ヶ月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族等は、いない	無回答
総数		100.0 (4,767)	25.5	25.8	9.5	11.7	14.5	8.8	0.6	3.6
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,561)	35.9	24.8	8.2	10.8	11.9	4.8	0.4	3.2
	週4回程度	100.0 (772)	17.2	35.1	11.3	11.7	14.0	6.6	0.4	3.8
	週2～3回程度	100.0 (862)	12.8	28.2	12.9	13.8	16.6	12.1	0.8	2.9
	週1回程度	100.0 (244)	9.8	20.5	11.1	13.5	25.0	13.9	2.0	4.1
	ほとんど外出しない	100.0 (271)	6.6	9.2	4.8	12.2	24.4	37.6	2.2	3.0
近所づきあいの程度別	お互いに訪問し合う人がいる	100.0 (1,090)	43.1	29.4	9.1	9.0	5.4	1.3	0.2	2.5
	立ち話をする程度の人がいる	100.0 (1,866)	24.5	28.5	10.6	13.3	14.8	4.8	0.2	3.2
	あいさつをする程度の人がいる	100.0 (1,370)	17.6	21.6	8.9	12.8	21.0	13.1	0.9	4.1
	つきあいがない	100.0 (395)	9.6	18.2	8.4	9.1	15.9	33.4	3.0	2.3
地域とのつながり別	少し弱くなっている	100.0 (892)	22.1	31.8	9.9	12.1	15.0	5.4	0.3	3.4
	弱くなっている	100.0 (832)	19.4	25.6	9.7	12.4	17.1	11.3	1.3	3.2
	少し強くなっている	100.0 (280)	34.3	31.8	4.6	12.9	11.4	2.1	0.4	2.5
	強くなっている	100.0 (144)	48.6	27.8	11.1	5.6	3.5	2.1	0.7	0.7
	以前と変わらず弱い	100.0 (1,290)	19.8	24.2	10.6	13.9	17.8	9.9	0.5	3.2
	以前と変わらず強い	100.0 (864)	41.8	27.5	9.4	8.7	7.2	3.5	0.1	1.9
	その他	100.0 (108)	18.5	16.7	12.0	9.3	13.0	17.6	1.9	11.1
	変わらない	100.0 (112)	24.1	19.6	9.8	16.1	20.5	5.4	－	4.5

4　緊急時の連絡先

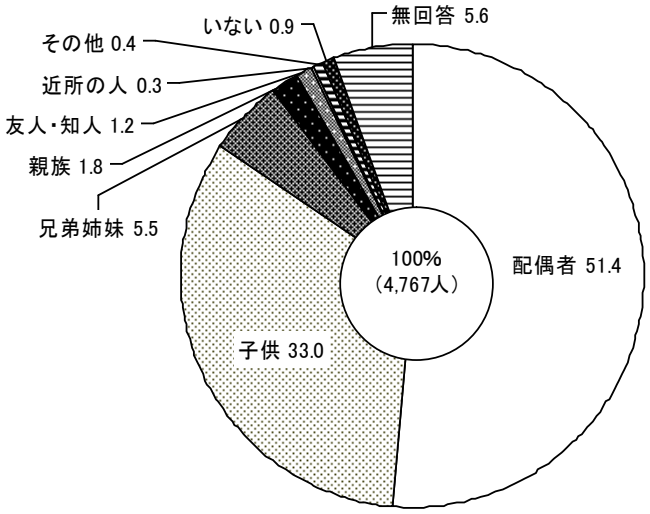
(1)　緊急時の連絡先

「配偶者」の割合が最も高く、約５割

緊急時に連絡をとるのは誰かについて聞いたところ､｢配偶者｣の割合が最も高く 51.4%、次いで「子供」が 33.0%となっている。(図 7-5)

問　あなたの身に何かあったとき（急病、災害等の緊急時）に、まず連絡をする、又は、連絡したいのは誰ですか。

図 7-5　緊急時の連絡先



(2) 緊急時の連絡先－性・年齢階級、世帯類型別

男性は「配偶者」の割合が最も高く約 7 割、女性は「子供」の割合が最も高く約 5 割

緊急時に連絡をとるのは誰かについて、性・年齢階級別に見ると、男性は、「配偶者」の割合が最も高く 69.4%、次いで「子供」16.6%となっている。一方、女性は、「子供」の割合が最も高く 45.4%、次いで「配偶者」37.8%となっている。男女とも、年齢階級があがるにつれて、配偶者の割合が低くなり、子供の割合が高くなっている。

世帯類型別に見ると、ひとり暮らしでは、「子供」の割合が最も高く 56.4%、次いで「兄弟姉妹」20.0%となっている。また、連絡をする相手が「いない」割合が最も高いのは、ひとり暮らしで 4.6%となっている。(表 7-8)

表 7-8 緊急時の連絡先－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	配偶者	同居	別居	無回答	子供	同居	別居	無回答	兄弟姉妹	同居	別居	無回答	親族	同居	別居	無回答	友人・知人	近所の人	その他	いない	無回答
総数		100.0 (4,767)	51.4	51.2	0.2	0.1	33.0	16.2	16.7	0.1	5.5	0.9	4.6	－	1.8	0.2	1.5	－	1.2	0.3	0.4	0.9	5.6
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	69.4	69.1	0.2	－	16.6	7.3	9.3	－	4.3	0.6	3.7	－	1.0	－	1.0	－	1.1	0.2	0.5	1.5	5.3
	65～74歳	100.0 (1,191)	74.5	74.1	0.4	－	10.7	4.1	6.5	－	5.1	0.7	4.5	－	1.2	－	1.2	－	1.4	0.2	0.9	1.7	4.4
	75～84歳	100.0 (713)	66.6	66.6	－	－	21.9	10.2	11.6	－	3.4	0.6	2.8	－	0.6	0.1	0.4	－	0.7	0.3	－	1.1	5.5
	85歳以上	100.0 (153)	42.5	42.5	－	－	38.6	19.0	19.6	－	2.6	0.7	2.0	－	2.0	－	2.0	－	0.7	－	－	1.3	12.4
	女	100.0 (2,710)	37.8	37.5	0.1	0.1	45.4	22.9	22.4	0.1	6.3	1.0	5.3	－	2.3	0.3	1.9	0.1	1.3	0.4	0.2	0.5	5.8
	65～74歳	100.0 (1,350)	51.3	51.1	0.1	0.1	35.1	16.6	18.4	0.1	6.4	1.0	5.4	0.1	1.9	0.1	1.7	0.1	1.6	0.3	0.1	0.5	2.7
	75～84歳	100.0 (1,048)	30.1	29.6	0.3	0.2	53.1	25.2	27.9	0.1	7.1	1.2	5.8	－	2.5	0.5	2.0	－	1.0	0.5	0.3	0.5	5.0
	85歳以上	100.0 (312)	5.4	5.4	－	－	63.8	42.3	21.2	0.3	3.5	0.6	2.9	－	3.5	0.6	2.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	22.4
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,634)	51.0	50.8	0.2	0.1	28.3	0.6	27.6	－	8.8	0.9	7.9	－	2.8	0.1	2.6	0.1	2.0	0.5	0.6	1.6	4.3
	ひとり暮らし	100.0 (899)	0.4	－	0.4	－	56.4	－	56.4	－	20.0	－	20.0	－	7.5	－	7.2	0.2	5.5	1.6	1.6	4.6	2.6
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	81.3	81.2	－	0.1	13.2	－	13.2	－	0.7	－	0.7	－	0.1	－	0.1	－	0.2	－	－	0.1	4.5
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	23.4	23.4	－	－	21.0	13.7	7.3	－	33.9	20.2	13.7	－	4.0	1.6	2.4	－	0.8	－	1.6	－	15.3
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	52.5	52.3	0.2	0.0	39.4	36.9	2.5	0.0	0.5	0.0	0.4	0.0	0.2	0.1	0.1	－	0.1	－	－	－	7.2
	夫婦のみ世帯	100.0 (195)	91.3	91.3	－	－	2.6	－	2.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.2
	高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (1,213)	57.0	56.8	0.2	0.1	36.5	33.7	2.7	0.1	0.8	0.1	0.7	0.1	0.2	－	0.2	－	0.2	－	－	－	5.2
	高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (166)	24.7	24.1	0.6	－	62.7	60.2	2.4	－	－	－	－	－	0.6	0.6	－	－	－	－	－	－	12.0
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (81)	24.7	24.7	－	－	60.5	58.0	2.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14.8
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (358)	35.2	34.9	0.3	－	53.6	52.0	1.7	－	0.3	－	0.3	－	0.6	0.3	0.3	－	－	－	－	－	10.3
	その他の世帯	100.0 (84)	39.3	39.3	－	－	23.8	－	22.6	1.2	20.2	17.9	2.4	－	7.1	7.1	－	－	1.2	－	1.2	－	7.1

(3) 緊急時の連絡先－子供の有無（同居・別居含む）別

子供がいて同居していない人は「配偶者」の割合が最も高く、約 6 割

緊急時に連絡をとるのは誰かについて、子供の有無（同居・別居含む）別に見ると、子供がいる人のうち、同居している人は、「配偶者」47.3%、「子供」43.8%で、「配偶者」の方が 3.5 ポイント高くなっている。

子供がいて同居していない人は、「配偶者」59.8%、「子供」32.6%で、「配偶者」の割合の方が 27.2 ポイント高くなっている。

子供がいない人は、「兄弟姉妹」の割合が最も高く 36.3%となっている。また、「親族」11.5%、「友人・知人」6.7%で、それぞれ総数の割合（1.8%、1.2%）より高くなっている。(表 7-9)

表 7-9 緊急時の連絡先－子供の有無（同居・別居含む）別

		総数	配偶者	子供	兄弟姉妹	親族	友人・知人	近所の人	その他	いない	無回答
総数		100.0 (4,767)	51.4	33.0	5.5	1.8	1.2	0.3	0.4	0.9	5.6
子供の有無別	子がいる	100.0 (4,182)	54.2	37.6	1.2	0.4	0.4	0.1	0.0	0.2	5.8
	同居	100.0 (1,867)	47.3	43.8	0.6	0.3	0.2	－	－	－	7.9
	別居(同居の子はいない)	100.0 (2,315)	59.8	32.6	1.6	0.5	0.6	0.2	0.1	0.3	4.2
	子はいない	100.0 (584)	31.5	－	36.3	11.5	6.7	1.5	2.6	6.0	3.9

5　近所づきあいの程度

(1)　近所づきあいの程度

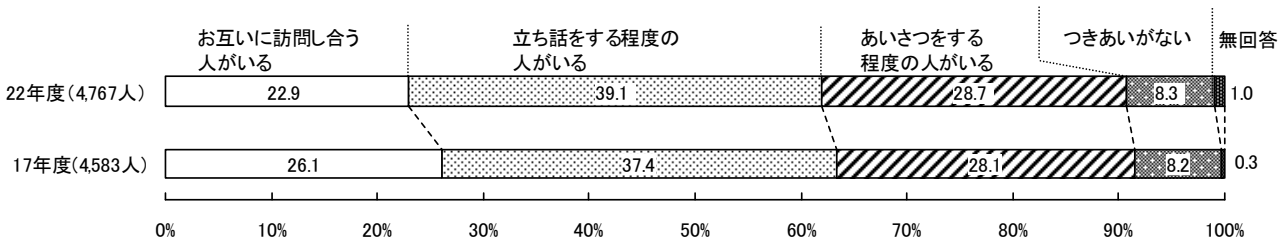
「立ち話をする程度の人がいる」の割合が最も高く、約 4 割

近所づき合いの程度を聞いたところ、「立ち話をする程度の人がいる」の割合が最も高く 39.1%、次いで「あいさつをする程度の人がいる」が 28.7%となっている。

17 年度調査と比較して、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、3.2 ポイント減少している。(図 7-6)

問　あなたはご近所の方とどの程度お付き合いしていますか。

図 7-6　近所づき合いの程度



(2) 近所づきあいの程度－性・年齢階級、地域、世帯構成（世代別）別

単身世帯（ひとり暮らし）では、「つきあいがない」の割合が 14.5%で、他の世帯構成に比べて高い

近所づきあいの程度について、性別で見ると、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、男性 17.5%、女性は 27.0%で、女性の方が 9.5 ポイント高くなっている。

地域別で見ると、どの地域も「立ち話をする程度の人がいる」の割合が最も高くなっている（33.1%～44.4%）。

世帯構成（世代別）で見ると、どの世帯構成でも「立ち話をする程度の人がいる」の割合が最も高くなっている（35.3%～42.4%）。単身世帯（ひとり暮らし）では、「つきあいがない」の割合が 14.5%で、他の世帯構成に比べて高くなっている。（表 7-10）

表 7-10 近所づきあいの程度－性・年齢階級、地域、世帯構成（世代別）別

		総数	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話をする程度の人がいる	あいさつをする程度の人がいる	つきあいがない	無回答
総数		100.0 (4,767)	22.9	39.1	28.7	8.3	1.0
性別	男	100.0 (2,057)	17.5	37.5	34.7	9.4	1.0
	女	100.0 (2,710)	27.0	40.4	24.2	7.5	1.0
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,304)	21.7	41.6	29.1	6.3	1.2
	70～74歳	100.0 (1,237)	22.6	42.4	27.2	7.2	0.6
	75～79歳	100.0 (1,066)	25.5	38.9	28.5	5.9	1.1
	80～84歳	100.0 (695)	26.2	38.6	25.9	8.6	0.7
	85歳以上	100.0 (465)	15.7	24.9	36.6	21.7	1.1
地域別	区部 計	100.0 (3,123)	22.8	38.2	28.9	9.2	0.9
	区中央部	100.0 (308)	23.1	35.7	31.2	9.4	0.6
	区南部	100.0 (376)	20.5	40.4	27.7	11.4	－
	区西南部	100.0 (455)	21.8	38.5	31.2	7.9	0.7
	区西部	100.0 (395)	16.5	40.3	30.4	11.6	1.3
	区西北部	100.0 (735)	25.2	38.9	27.8	7.5	0.7
	区東北部	100.0 (434)	26.5	39.6	23.3	8.8	1.8
	区東部	100.0 (420)	23.8	33.1	32.6	9.5	1.0
	市・町・村部 計	100.0 (1,644)	23.0	40.9	28.3	6.6	1.2
	西多摩	100.0 (173)	28.3	39.9	21.4	9.2	1.2
	南多摩	100.0 (464)	23.7	39.4	26.9	8.2	1.7
	北多摩西部	100.0 (315)	26.0	43.5	24.8	5.4	0.3
	北多摩南部	100.0 (397)	19.9	38.5	34.3	5.5	1.8
	北多摩北部	100.0 (295)	19.7	44.4	30.5	5.1	0.3
世帯構成（世代別）	単身世帯（ひとり暮らし）	100.0 (899)	22.8	35.3	26.3	14.5	1.2
	一世代世帯（夫婦のみ）	100.0 (1,818)	23.7	39.9	29.5	6.1	0.9
	二世代世帯（親と子）	100.0 (1,449)	20.6	42.4	29.5	6.7	0.8
	三世代世帯（親と子と孫）	100.0 (467)	26.6	35.3	26.6	10.1	1.5

(3) 近所づきあいの程度－外出の頻度、地域とのつながり別

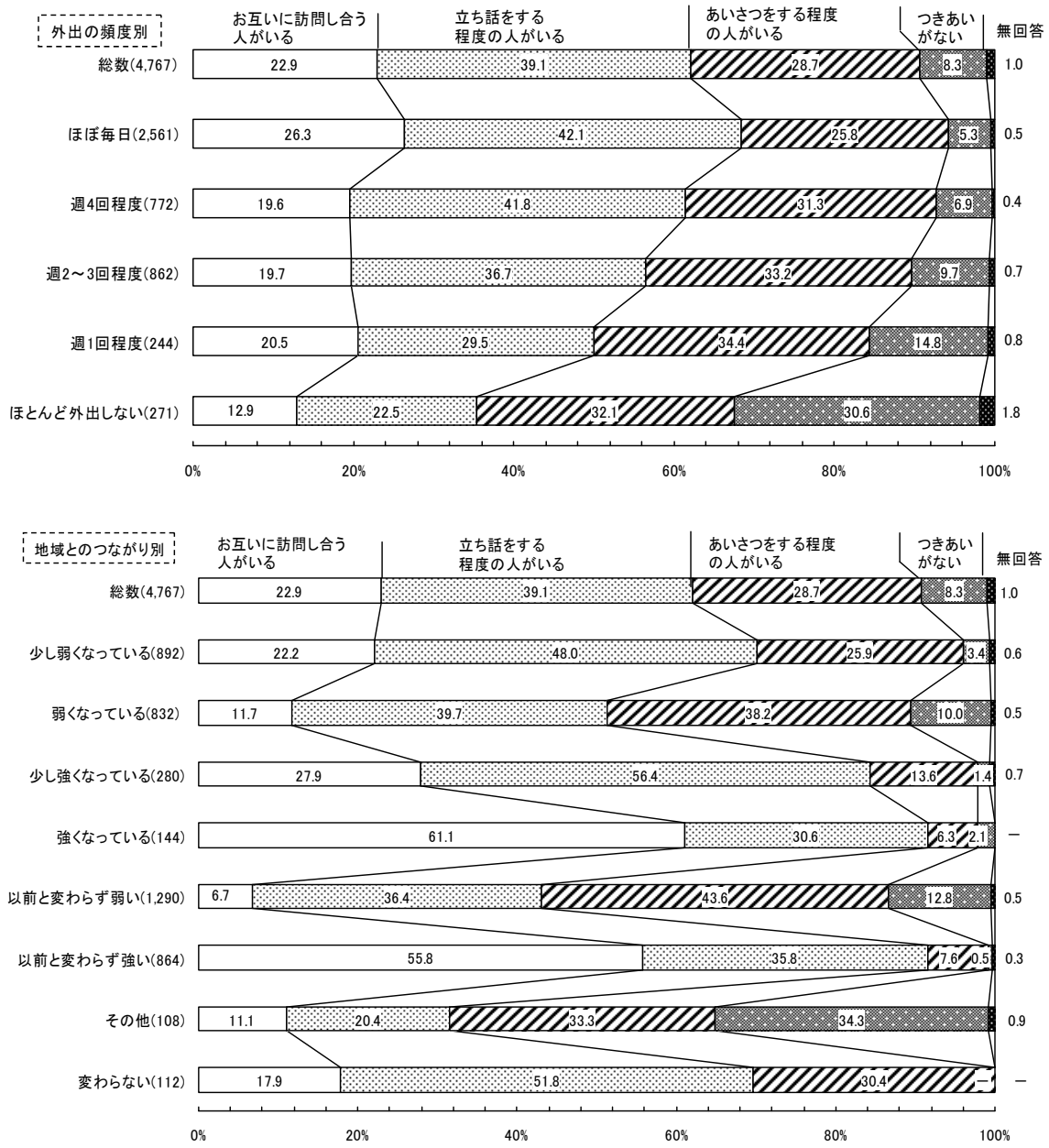
「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、地域とのつながりが強くなっている、以前と変わらず強いと感じている人が、いずれも 5 割超

近所づきあいの程度について、外出の頻度別に見ると、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、ほぼ毎日外出する人が 26.3%で最も高くなっている。

一方、「つきあいがない」の割合は、ほとんど外出しない人が 30.6%で最も高くなっている。

地域とのつながり別に見ると、強くなっていると感じている人と、以前と変わらず強いと感じている人は、「お互いに訪問し合う人がいる」が 61.1%、55.8%と 5 割を超えている。(図 7-7)

図 7-7 近所づきあいの程度－外出の頻度、地域とのつながり別



6　地域とのつながり

(1)　地域とのつながり

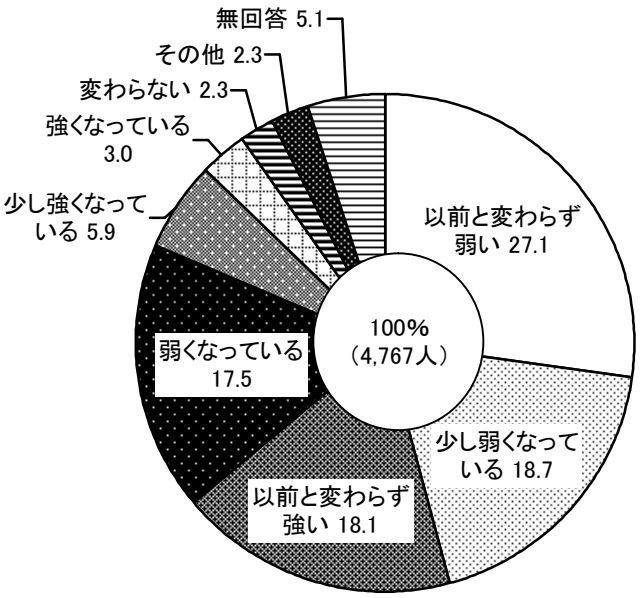
「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く、約3割

地域とのつながりについて聞いたところ、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く27.1%、次いで「少し弱くなっている」が18.7%となっている。

「少し弱くなっている」、「弱くなっている」、「以前と変わらず弱い」を合わせた割合は63.2%で、6割を超えている。(図7-8)

問　あなたは、地域の方々とのつながり（近所付き合い、交流等）について、以前と比べて、どのように感じますか。

図7-8　地域とのつながり



(注) 統計比率を合算した比率(63.2%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳とは一致しない。

(2) 地域とのつながり－性・年齢階級、地域別

男女ともに「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く、それぞれ 31.4%、23.8%

地域とのつながりについて、性別に見ると、男性は、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く 31.4%、次いで「少し弱くなっている」が 17.7%となっている。女性は、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く 23.8%、次いで「以前と変わらず強い」が 20.1%となっている。

地域別に見ると、「少し弱くなっている」の割合は西多摩が 37.0%で、総数に比べて 18.5 ポイント高くなっている。また「弱くなっている」の割合も西多摩が 23.7%で、総数に比べて 6.2 ポイント高くなっている。(表 7-11)

表 7-11 地域とのつながり－性・年齢階級、地域別

		総数	少し弱くなっている	弱くなっている	少し強くなっている	強くなっている	以前と変わらず弱い	以前と変わらず強い	その他	変わらない	無回答
総数		100.0 (4,767)	18.7	17.5	5.9	3.0	27.1	18.1	2.3	2.3	5.1
性別	男	100.0 (2,057)	17.7	16.2	6.7	2.9	31.4	15.5	2.4	2.5	4.6
	女	100.0 (2,710)	19.4	18.4	5.2	3.1	23.8	20.1	2.1	2.2	5.6
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	18.1	15.9	7.8	3.9	29.4	17.8	2.3	2.4	2.5
	75～84歳	100.0 (1,761)	19.9	18.1	4.3	2.4	25.1	20.7	2.0	2.4	5.1
	85歳以上	100.0 (465)	17.8	23.7	1.5	0.6	21.5	10.3	3.0	1.9	19.6
地域別	区部 計	100.0 (3,123)	18.5	17.8	5.2	2.7	27.3	18.5	2.3	2.1	5.5
	区中央部	100.0 (308)	20.1	15.6	5.2	2.3	27.9	19.8	1.3	2.3	5.5
	区南部	100.0 (376)	17.6	18.4	5.6	2.1	27.1	16.0	2.4	2.1	8.8
	区西南部	100.0 (455)	18.2	20.2	5.5	2.0	29.0	13.6	3.7	1.1	6.6
	区西部	100.0 (395)	19.7	15.2	5.3	3.0	29.6	15.4	3.8	2.0	5.8
	区西北部	100.0 (735)	16.2	20.1	5.2	3.1	26.8	20.5	0.8	3.4	3.8
	区東北部	100.0 (434)	18.7	12.9	4.6	2.8	23.7	25.1	3.5	1.8	6.9
	区東部	100.0 (420)	21.4	19.5	4.8	3.3	27.6	17.4	1.7	1.4	2.9
	市・町・村部 計	100.0 (1,644)	19.0	16.8	7.2	3.6	26.6	17.5	2.1	2.7	4.4
	西多摩	100.0 (173)	37.0	23.7	1.7	1.7	12.7	17.9	1.7	－	3.5
	南多摩	100.0 (464)	15.9	15.3	6.0	4.3	30.0	20.0	2.2	2.2	4.1
	北多摩西部	100.0 (315)	15.2	17.1	7.0	4.8	25.1	21.9	2.2	1.3	5.4
	北多摩南部	100.0 (397)	20.2	17.6	9.1	2.8	31.5	11.1	2.5	1.8	3.5
	北多摩北部	100.0 (295)	15.9	13.9	10.2	3.4	24.4	16.9	1.7	8.1	5.4

(3) 地域とのつながりー最長職業、世帯類型、1年間に行った活動別

趣味のサークル活動をしている人と、ボランティア活動・地域活動・ＮＰＯ活動をしている人は、「以前と変わらず強い」の割合が最も高く、それぞれ24.9%、30.9%

地域とのつながりについて最長職業別に見ると、その他の就業を除いたすべての職業で「以前と変わらず弱い」が最も高い割合になっている（22.0%～38.4%）。

世帯類型別に見ると、高齢者のみの世帯の人も、高齢者のみでない世帯の人も、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く、それぞれ27.9%、26.1%となっている。

1年間に行った活動別に見ると、趣味のサークル活動をしている人と、ボランティア活動・地域活動・ＮＰＯ活動をしている人は、「以前と変わらず強い」の割合が最も高く、それぞれ24.9%、30.9%となっている。（表7-12）

表7-12 地域とのつながりー最長職業、世帯類型、1年間に行った活動別

		総数	少し弱くなっている	弱くなっている	少し強くなっている	強くなっている	以前と変わらず弱い	以前と変わらず強い	その他	変わらない	無回答
総数		100.0 (4,767)	18.7	17.5	5.9	3.0	27.1	18.1	2.3	2.3	5.1
最長職業別	自営業者（家族従業者含む）	100.0 (1,169)	20.3	18.4	4.5	2.3	23.6	21.4	1.5	2.8	5.1
	正規の職員・従業員	100.0 (2,011)	16.0	16.7	7.5	3.4	30.7	16.4	2.6	2.5	4.2
	会社等の役員	100.0 (229)	20.1	9.6	7.0	2.6	38.4	12.7	3.1	1.3	5.2
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (482)	21.2	19.5	5.8	2.9	22.6	19.7	3.3	1.5	3.5
	家事専業（専業主婦・主夫）	100.0 (748)	21.7	18.9	3.6	3.3	23.0	18.7	1.6	2.3	7.0
	仕事に就いたことはない	100.0 (82)	19.5	20.7	4.9	2.4	22.0	13.4	1.2	－	15.9
	その他の就業	100.0 (26)	7.7	11.5	7.7	3.8	23.1	26.9	3.8	3.8	11.5
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,634)	18.2	17.1	6.0	3.2	27.9	18.1	2.8	2.6	4.1
	ひとり暮らし	100.0 (899)	16.7	16.6	5.2	3.2	31.7	16.8	4.4	2.2	3.1
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	19.1	17.1	6.6	3.2	26.3	19.5	1.8	2.7	3.7
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	17.7	21.0	4.0	2.4	21.0	10.5	4.0	3.2	16.1
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	19.4	17.9	5.6	2.9	26.1	18.0	1.6	2.0	6.4
	夫婦のみ世帯	100.0 (195)	16.9	17.4	11.3	5.6	32.8	8.7	2.1	1.0	4.1
	高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (1,213)	18.5	17.7	5.6	3.0	28.8	18.1	1.4	2.6	4.2
	高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (166)	22.9	21.1	3.0	0.6	15.1	22.3	0.6	2.4	12.0
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (81)	22.2	13.6	－	4.9	16.0	25.9	2.5	－	14.8
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (358)	21.5	18.4	5.0	2.0	20.7	18.7	2.5	0.8	10.3
	その他の世帯	100.0 (84)	17.9	17.9	7.1	2.4	25.0	16.7	1.2	3.6	8.3
1年間に行った活動別（複数回答）	活動している	100.0 (2,329)	18.5	15.2	8.3	4.9	24.9	22.8	1.8	2.1	1.6
	趣味のサークル活動	100.0 (1,211)	18.4	14.2	9.5	5.2	22.5	24.9	1.6	1.9	1.7
	教養講座の受講などの学習活動	100.0 (437)	16.7	11.9	11.2	5.9	27.2	20.8	2.3	2.7	1.1
	スポーツ	100.0 (1,252)	18.1	15.1	9.6	5.1	25.2	20.8	2.2	2.2	1.5
	ボランティア活動、地域活動、NPO活動	100.0 (685)	16.2	11.4	11.2	8.6	18.1	30.9	0.6	1.9	1.0
	その他	100.0 (54)	22.2	13.0	3.7	3.7	25.9	18.5	3.7	5.6	3.7
	活動はしていない	100.0 (2,404)	18.9	19.7	3.6	1.3	29.3	13.7	2.7	2.6	8.1

7　心配や悩み事（複数回答）

(1)　心配や悩み事（複数回答）

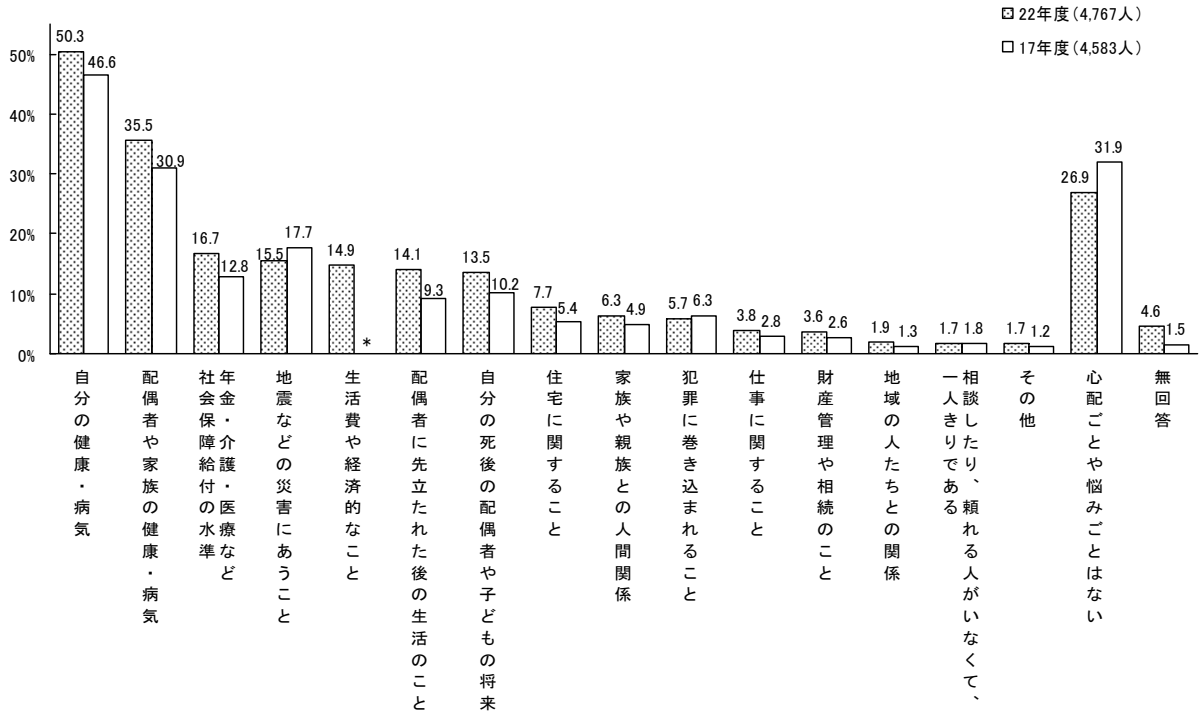
「自分の健康・病気」の割合が最も高く、約5割

心配や悩み事について聞いたところ、「自分の健康・病気」の割合が最も高く50.3%、次いで「配偶者や家族の健康・病気」が35.5%となっている。

17年度調査と比べると、「心配ごとや悩みごとはない」の割合は5.0ポイント減少している。(図7-9)

問　あなたには現在、心配ごとや悩みごとがありますか。

図7-9　心配や悩み事(複数回答)



(注)＊は前回調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの。

(2)　心配や悩み事(複数回答)－性、世帯構成(世代別)、住宅の種類別

男女とも、「自分の健康・病気」の割合が最も高く、それぞれ約5割

心配や悩み事について、性別に見ると、男女とも、「自分の健康・病気」の割合が最も高くそれぞれ49.5%、50.8%となっている。

「配偶者や家族の健康・病気」の割合は、男性39.4%、女性32.5%、「配偶者に先立たれた後の生活のこと」の割合は、男性18.7%、女性10.6%で、どちらも男性の方が高い割合となっている。

世帯構成（世代別）で見ると、単身世帯（ひとり暮らし）は「相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりである」の割合が6.0%で、他の世帯に比べて高い割合になっている。

また、一世代世帯（夫婦のみ）は、「配偶者や家族の健康・病気」の割合が49.9%、「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が25.2%で、他の世帯に比べて高い割合になっている。

住宅の種類別に見ると、民間賃貸住宅に住む人は、「生活費や経済的なこと」が36.3%、「住宅に関すること」が28.7%で、それぞれ総数の割合（14.9%、7.7%）と比べて高い割合になっている。(表7-13)

表7-13　心配や悩み事(複数回答) －性、世帯構成(世代別)、住宅の種類別

		総数	自分の健康・病気	配偶者や家族の健康・病気	家族や親族との人間関係	相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりである	地域の人たちとの関係	生活費や経済的なこと	年金・介護・医療など社会保障給付の水準	住宅に関すること	仕事に関すること	財産管理や相続のこと	犯罪に巻き込まれること	地震などの災害にあうこと	配偶者に先立たれた後の生活のこと	自分の死後の配偶者や子どもの将来	その他	心配ごとや悩みごとはない	無回答
総数		100.0 (4,767)	50.3	35.5	6.3	1.7	1.9	14.9	16.7	7.7	3.8	3.6	5.7	15.5	14.1	13.5	1.7	26.9	4.6
性別	男	100.0 (2,057)	49.5	39.4	6.2	1.8	2.3	16.1	18.1	8.5	6.2	4.0	4.6	13.5	18.7	14.9	1.3	26.0	4.2
	女	100.0 (2,710)	50.8	32.5	6.4	1.6	1.6	14.0	15.5	7.1	1.9	3.2	6.5	17.0	10.6	12.5	2.0	27.6	4.9
世帯構成（世代別）	単身世帯（ひとり暮らし）	100.0 (899)	54.7	7.2	5.3	6.0	1.1	18.2	14.3	10.6	3.1	3.0	6.9	13.0	0.4	3.8	2.3	29.5	2.6
	一世代世帯（夫婦のみ）	100.0 (1,818)	52.0	49.9	6.9	0.7	2.1	13.3	18.6	7.1	3.6	3.5	5.6	17.2	25.2	15.7	0.8	24.9	3.4
	二世代世帯（親と子）	100.0 (1,449)	46.7	37.1	6.7	0.8	2.5	16.3	17.4	7.9	4.8	4.1	5.4	15.9	11.3	18.8	2.3	26.9	5.5
	三世代世帯（親と子と孫）	100.0 (467)	45.4	29.1	5.6	0.6	1.1	9.6	10.3	4.1	3.0	3.9	3.0	12.4	8.4	8.8	1.5	30.8	9.4
住宅の種類別	持ち家（一戸建て）	100.0 (2,912)	49.2	37.0	5.9	0.9	1.7	11.2	14.7	5.3	3.4	4.3	5.7	16.1	14.6	13.4	1.7	28.6	4.8
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	49.8	35.7	7.0	1.9	1.8	12.0	18.0	3.9	2.9	3.4	4.5	14.8	14.0	14.2	1.5	28.8	3.6
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	52.7	26.0	6.9	6.1	2.7	36.3	21.6	28.7	7.4	1.0	5.4	14.5	11.3	13.7	2.2	19.4	3.7
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	57.8	31.7	7.2	2.4	2.0	20.1	21.7	4.4	3.6	0.8	6.4	16.1	11.2	11.6	1.2	22.1	5.6
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	53.8	36.7	5.7	2.7	3.0	25.0	23.9	13.6	4.2	1.9	11.0	16.3	15.5	14.4	1.5	20.8	2.3
	借家（一戸建て）	100.0 (60)	51.7	30.0	8.3	1.7	1.7	30.0	13.3	25.0	10.0	1.7	1.7	10.0	15.0	18.3	1.7	18.3	5.0
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	42.3	30.8	15.4	－	－	7.7	3.8	3.8	3.8	11.5	－	3.8	3.8	7.7	3.8	30.8	15.4
	その他	100.0 (14)	28.6	35.7	7.1	－	－	－	14.3	－	－	7.1	－	－	7.1	－	7.1	28.6	21.4

(3)　心配や悩み事の相談相手(複数回答)

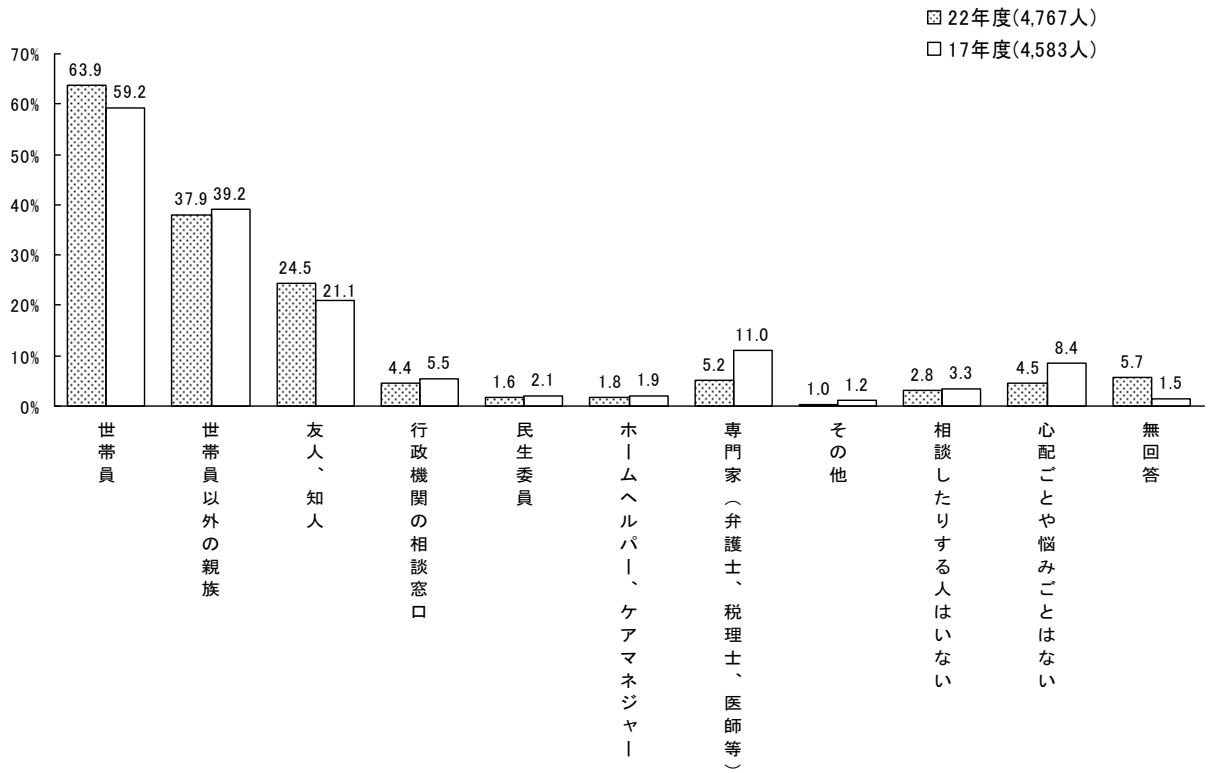
「世帯員」の割合が最も高く、約 6 割

心配や悩み事ができた場合、誰に相談するのか聞いたところ、「世帯員」の割合が 63.9%と最も高く、次いで世帯員以外の親族が 37.9%、友人・知人が 24.5%となっている。

17 年度調査と比較すると、「世帯員」の割合は 4.7 ポイント増加している。一方で、「専門家（弁護士、税理士、医師等)」は、5.8 ポイント減少している。(図 7-10)

問　あなたは心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。

図 7-10　心配や悩み事の相談相手（複数回答）



(4) 心配や悩み事の相談相手(複数回答) ー性、世帯構成（世代別）別

男女とも「世帯員」の割合が最も高くなっている（男性 71.5%、女性 58.0%）

心配や悩み事ができた場合、誰に相談するのか聞いたところ、性別で見ると、男女とも「世帯員」の割合が最も高く（男性 71.5%、女性 58.0%）、次いで「世帯員以外の親族」の順になっている（男性 29.2%、女性 44.6%）。「世帯員」については、男性の方が 13.5 ポイント高く、「世帯員以外の親族」については、女性の方が 15.4 ポイント高くなっている。

世帯構成（世代別）で見ると、単身世帯（ひとり暮らし）では「相談したりする人はいない」の割合が 8.2%で、他の世帯構成と比べ高い割合になっている。(表 7-14)

表 7-14 心配や悩み事の相談相手（複数回答）ー性、世帯構成（世代別）別

		総数	世帯員	世帯員以外の親族	友人、知人	行政機関の相談窓口	民生委員	ホームヘルパー、ケアマネジャー	専門家（弁護士、税理士、医師等）	その他	相談したりする人はいない	心配ごとや悩みごとはない	無回答
総数		100.0 (4,767)	63.9	38.0	24.5	4.5	1.6	1.8	5.2	0.3	3.1	4.5	5.7
性別	男	100.0 (2,057)	71.5	29.2	20.0	5.3	1.7	1.7	7.0	0.3	4.4	4.5	5.3
	女	100.0 (2,710)	58.0	44.6	27.9	3.9	1.5	2.0	3.9	0.3	2.2	4.5	6.1
世帯構成（世代別）	単身世帯（ひとり暮らし）	100.0 (899)	－	59.5	33.3	5.3	3.3	2.4	4.3	0.6	8.2	6.3	5.7
	一世代世帯（夫婦のみ）	100.0 (1,818)	81.2	39.7	24.3	5.1	1.8	2.0	5.6	0.2	1.8	4.1	4.2
	二世代世帯（親と子）	100.0 (1,449)	78.1	27.5	22.4	4.3	0.6	1.9	5.6	0.2	2.1	3.9	6.2
	三世代世帯（親と子と孫）	100.0 (467)	76.4	24.0	15.2	1.7	0.9	0.6	4.7	0.4	1.7	4.7	9.9

1　1年間に行った活動(複数回答)

(1)　1年間に行った活動（複数回答）

「活動している」割合は、約5割

1 年間に趣味やスポーツ等の活動を行ったか聞いたところ、「活動している」の割合は48.9%で、「活動はしていない」は50.4%となっている。(図 8-1)

活動している人（2,329 人）にどのような活動を行ったかについて聞いたところ、「スポーツ」の割合が最も高く 53.8%、次いで「趣味のサークル活動」52.0%となっている。(図 8-2)

問　あなたはこの1年間に以下のような活動をしましたか。

図 8-1　1年間に行った活動（複数回答）

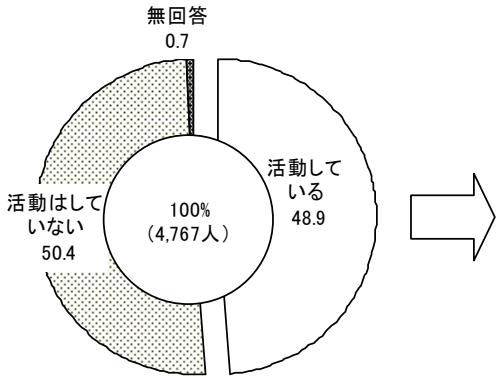
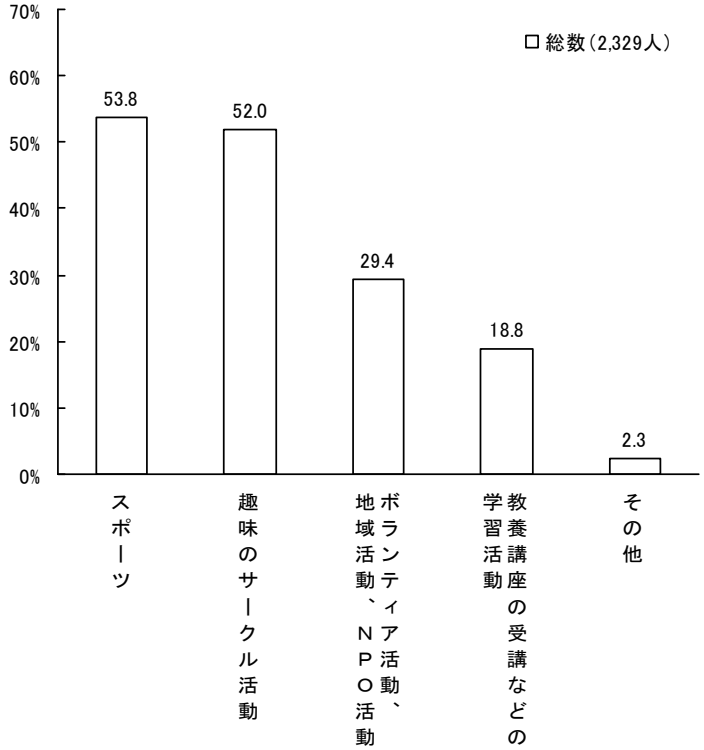


図 8-2　活動している人の活動内容(複数回答)



(2) 1年間に行った活動(複数回答)－性・年齢階級別、17年度調査との比較

男女とも「活動している」割合は、それぞれ約5割

1年間に行った活動について、性別で見ると、男女とも「活動している」割合は、それぞれ48.8%、48.9%で約5割となっている。男性は、「スポーツ」の割合が最も高く27.9%、次いで「趣味のサークル活動」19.8%となっている。女性は、「趣味のサークル活動」の割合が最も高く29.7%、次いで「スポーツ」25.1%となっている。

年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて、概ね、「活動している」割合は低くなっている。(表8-1)

表8-1 1年間に行った活動(複数回答)－性・年齢階級別、17年度調査との比較

		総数	活動している	趣味のサークル活動	教養講座の受講等の学習活動	スポーツ	ボランティア活動、地域活動、NPO活動	その他	活動はしていない	無回答
総数		100.0 (4,767)	48.9	25.4	9.2	26.3	14.4	1.1	50.4	0.7
性別	男	100.0 (2,057)	48.8	19.8	7.6	27.9	16.5	1.4	50.5	0.8
	女	100.0 (2,710)	48.9	29.7	10.3	25.1	12.8	0.9	50.4	0.7
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,304)	57.7	27.4	11.0	35.5	17.6	0.8	41.6	0.7
	70～74歳	100.0 (1,237)	52.4	26.4	9.8	30.8	16.1	1.1	46.8	0.8
	75～79歳	100.0 (1,066)	51.7	28.2	10.4	23.7	15.3	1.9	47.3	1.0
	80～84歳	100.0 (695)	37.7	23.5	6.6	16.0	9.9	1.0	62.0	0.3
	85歳以上	100.0 (465)	24.9	13.5	3.2	9.5	5.4	0.6	74.6	0.4
17年度調査		100.0 (4,583)	45.3	25.6	9.9	23.9	12.6	－	53.7	1.0

(3)　1年間に行った活動（複数回答）－地域別

「活動している」割合は、区部よりも市町村部のほうが高くなっている

1年間に行った活動について、地域別に見ると、「活動している」割合は、区部（46.8%）よりも市町村部（52.8%）のほうが高くなっている。内訳を見ると、「スポーツ」の割合は、区部（23.9%）、市町村部（30.8%）で6.9ポイントの差があり、他の活動と比較して最も差が大きくなっている。(表8-2)

表8-2　1年間に行った活動（複数回答）－地域別

	総数	活動している	趣味のサークル活動	教養講座の受講等の学習活動	スポーツ	ボランティア活動、地域活動、NPO活動	その他	活動はしていない	無回答
総数	100.0 (4,767)	48.9	25.4	9.2	26.3	14.4	1.1	50.4	0.7
区部 計	100.0 (3,123)	46.8	23.4	7.9	23.9	13.7	1.1	52.5	0.7
区中央部	100.0 (308)	50.6	25.6	11.4	28.6	18.8	0.6	49.4	－
区南部	100.0 (376)	44.7	25.8	6.1	24.5	10.4	1.1	54.5	0.8
区西南部	100.0 (455)	48.6	24.0	10.1	25.7	14.3	1.8	50.5	0.9
区西部	100.0 (395)	48.9	23.8	10.9	25.6	13.4	2.0	49.9	1.3
区西北部	100.0 (735)	47.3	23.0	6.7	22.6	13.3	1.0	52.2	0.4
区東北部	100.0 (434)	40.6	20.5	6.9	20.5	13.6	0.5	58.1	1.4
区東部	100.0 (420)	47.4	22.6	5.2	21.9	13.1	1.0	52.1	0.5
市・町・村部 計	100.0 (1,644)	52.8	29.1	11.5	30.8	15.7	1.2	46.5	0.7
西多摩	100.0 (173)	53.2	30.1	6.4	24.9	20.8	0.6	46.2	0.6
南多摩	100.0 (464)	49.6	27.4	11.6	28.0	14.4	1.3	50.0	0.4
北多摩西部	100.0 (315)	55.6	30.2	9.8	35.2	13.3	1.3	44.1	0.3
北多摩南部	100.0 (397)	54.9	30.5	14.1	34.0	16.6	0.8	43.8	1.3
北多摩北部	100.0 (295)	51.9	28.5	12.5	29.8	15.9	1.7	47.5	0.7

(4) 1年間に行った活動(複数回答)－健康意識、外出の頻度、地域とのつながり別

健康意識が悪くなるにつれて、「活動している」割合は低くなっている

1年間に行った活動について、健康意識別に見ると、健康意識が悪くなるにつれて、「活動している」割合は、低くなっている。

外出の頻度別に見ると、外出の頻度が低くなるにつれて、「活動している」割合は低くなっている。特に、ほとんど外出しない人は、「活動はしていない」の割合が93.4%で、9割を超えている。

地域とのつながり別に見ると、地域とのつながりについて少し強くなっている、強くなっている、以前と変わらず強いと感じている人は、「活動している」割合が、それぞれ68.9%、78.5%、61.5%で、6割を超えている。また、「ボランティア活動、地域活動、NPO活動」の割合も、それぞれ27.5%、41.0%、24.5%で、総数の割合（14.4%）と比較して高い割合になっている。(表8-3)

表8-3 1年間に行った活動(複数回答)－健康意識、外出の頻度、地域とのつながり別

		総数	活動している	趣味のサークル活動	教養講座の受講等の学習活動	スポーツ	ボランティア活動、地域活動、NPO活動	その他	活動はしていない	無回答
総数		100.0 (4,767)	48.9	25.4	9.2	26.3	14.4	1.1	50.4	0.7
健康意識別	よい	100.0 (1,257)	59.5	30.6	12.1	35.3	20.9	1.3	39.9	0.6
	まあよい	100.0 (866)	57.5	30.7	12.4	30.9	16.2	1.5	41.5	1.0
	ふつう	100.0 (1,384)	51.6	26.6	9.0	27.7	14.3	0.7	47.8	0.7
	あまりよくない	100.0 (833)	33.0	17.8	5.5	13.7	7.6	1.2	66.4	0.6
	よくない	100.0 (189)	25.4	11.6	1.1	10.1	5.3	2.1	74.6	－
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,561)	56.9	27.9	10.7	33.2	17.7	1.2	42.4	0.7
	週4回程度	100.0 (772)	52.5	30.8	10.5	26.0	15.7	0.9	46.9	0.6
	週2～3回程度	100.0 (862)	43.5	24.4	8.2	19.3	9.7	1.4	55.8	0.7
	週1回程度	100.0 (244)	25.0	14.3	2.9	7.4	7.0	1.6	74.6	0.4
	ほとんど外出しない	100.0 (271)	6.6	2.6	0.4	3.0	1.8	－	93.4	－
地域とのつながり別	少し弱くなっている	100.0 (892)	48.3	25.0	8.2	25.4	12.4	1.3	50.9	0.8
	弱くなっている	100.0 (832)	42.7	20.7	6.3	22.7	9.4	0.8	57.0	0.4
	少し強くなっている	100.0 (280)	68.9	41.1	17.5	42.9	27.5	0.7	31.1	－
	強くなっている	100.0 (144)	78.5	43.8	18.1	44.4	41.0	1.4	21.5	－
	以前と変わらず弱い	100.0 (1,290)	44.9	21.2	9.2	24.5	9.6	1.1	54.6	0.5
	以前と変わらず強い	100.0 (864)	61.5	35.0	10.5	30.2	24.5	1.2	38.2	0.3
	その他	100.0 (108)	38.0	17.6	9.3	25.9	3.7	1.9	61.1	0.9
	変わらない	100.0 (112)	43.8	20.5	10.7	25.0	11.6	2.7	56.3	－

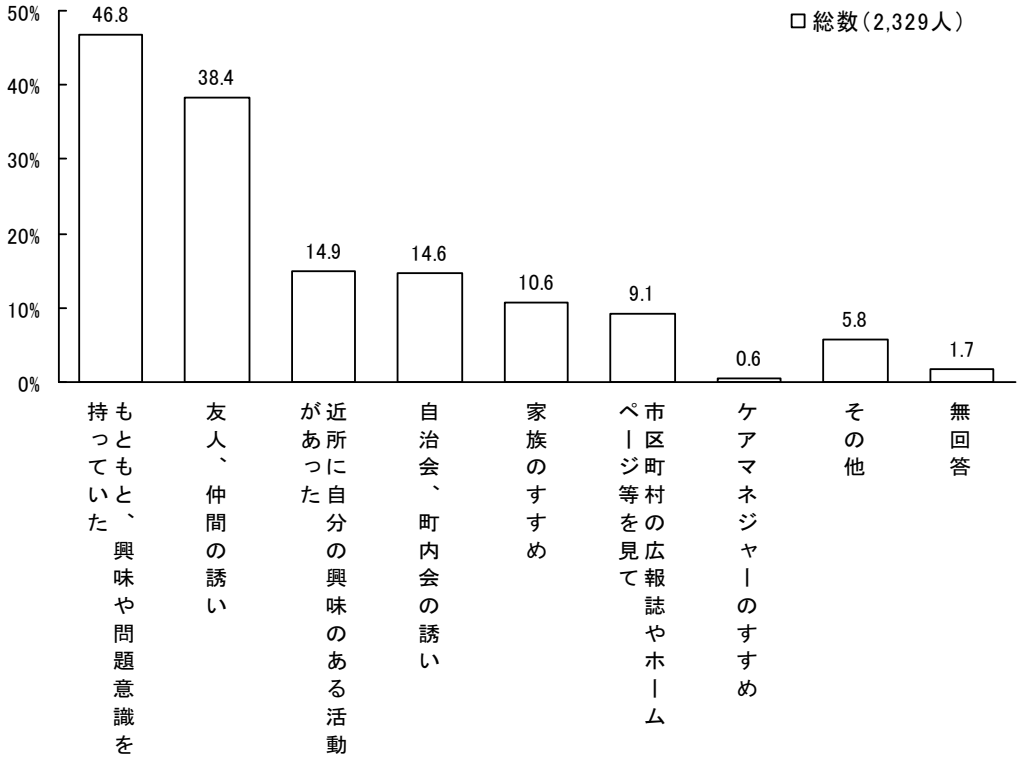
2　活動を始めたきっかけ（複数回答）

「もともと、興味や問題意識を持っていた」の割合が最も高く、約5割

1年間に趣味やスポーツ等の活動を行った人（2,329人）に活動を始めたきっかけを聞いたところ、「もともと、興味や問題意識を持っていた」の割合が46.8%で最も高く、次いで、「友人、仲間の誘い」38.4%となっている。（図8-3）

問　そのような活動を始めたきっかけはどういうものでしたか。

図8-3　活動を始めたきっかけ(複数回答)



3　活動に参加しやすくなる条件（複数回答）

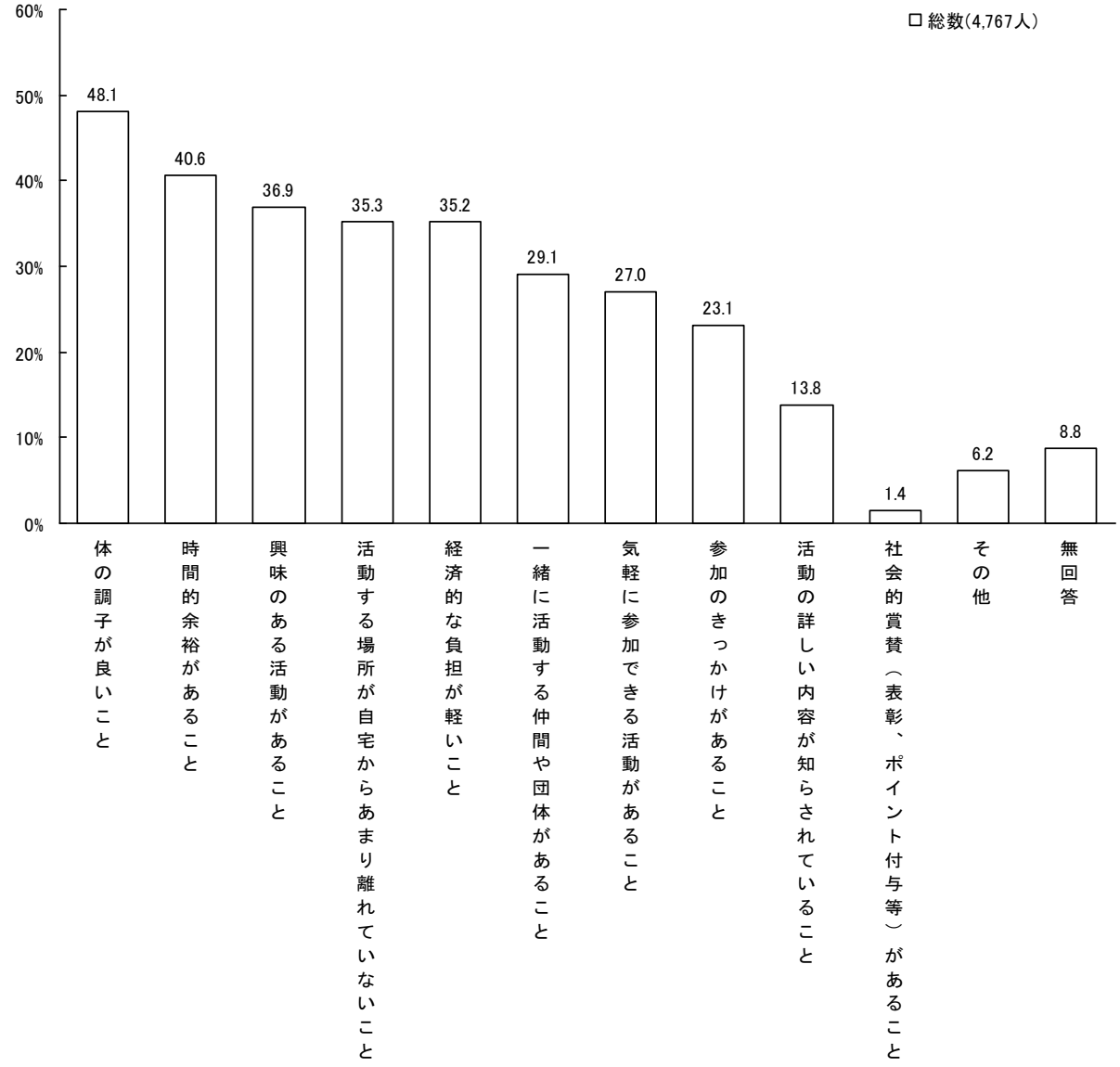
(1)　活動に参加しやすくなる条件（複数回答）

「体の調子が良いこと」の割合が最も高く、約5割

活動に参加しやすくなる条件を聞いたところ、「体の調子が良いこと」の割合が48.1%で最も高く、次いで、「時間的余裕があること」40.6%となっている。(図8-4)

問　問40のような活動に、参加しやすくなると思える条件は何ですか。
※　現在、既に活動している方は、他の人がより参加しやすくなる条件を選んでください

図8-4　活動に参加しやすくなる条件(複数回答)



(2) 活動に参加しやすくなる条件（複数回答）－性・年齢階級、介護の状況別

男女ともに「体の調子が良いこと」の割合が最も高く、それぞれ 45.8%、49.9%

活動に参加しやすくなる条件について、性別で見ると、男性は、「体の調子が良いこと」の割合が 45.8%で最も高く、次いで、「時間的余裕があること」42.4%、「興味のある活動があること」37.5%となっている。女性は、「体の調子が良いこと」の割合が 49.9%で最も高く、次いで、「時間的余裕があること」39.3%、「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」37.6%となっている。

年齢階級別に見ると、65～69 歳の階級を除いた年齢階級では、「体の調子が良いこと」の割合が最も高いが（40.9%～51.8%）、65～69 歳では、「時間的余裕があること」の割合が 52.5%で最も高くなっている。

また、介護の状況別に見ると、介護している人は、「時間的余裕があること」の割合が 55.9%で最も高くなっている。（表 8-4）

表 8-4 活動に参加しやすくなる条件(複数回答）－性・年齢階級、介護の状況別

		総数	経済的な負担が軽いこと	時間的余裕があること	一緒に活動する仲間や団体があること	活動する場所が自宅からあまり離れていないこと	活動の詳しい内容が知らされていること	参加のきっかけがあること	体の調子が良いこと	興味のある活動があること	気軽に参加できる活動があること	社会的賞賛（表彰、ポイント付与等）があること	その他	無回答
総数		100.0 (4,767)	35.2	40.6	29.1	35.3	13.8	23.1	48.1	36.9	27.0	1.4	6.2	8.8
性別	男	100.0 (2,057)	34.5	42.4	28.2	32.3	13.8	22.9	45.8	37.5	27.2	1.9	7.0	8.3
	女	100.0 (2,710)	35.7	39.3	29.8	37.6	13.7	23.2	49.9	36.4	26.9	1.1	5.6	9.2
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,304)	42.3	52.5	32.5	40.6	16.3	27.1	46.1	43.9	33.8	1.7	4.1	4.8
	70～74歳	100.0 (1,237)	40.2	45.5	32.1	40.6	15.9	26.5	48.9	39.3	30.2	1.7	5.6	5.8
	75～79歳	100.0 (1,066)	35.4	38.3	31.1	36.6	13.2	22.6	51.8	35.9	25.0	1.4	6.8	7.3
	80～84歳	100.0 (695)	26.2	29.4	24.0	26.5	11.1	17.1	49.6	32.9	20.0	1.3	7.8	11.7
	85歳以上	100.0 (465)	14.8	16.3	14.6	16.8	6.0	12.5	40.9	18.7	14.6	0.2	9.9	26.9
介護の状況別	介護している	100.0 (460)	38.9	55.9	32.4	44.1	17.2	25.7	49.8	40.2	33.7	2.0	5.4	5.9
	介護していない	100.0 (4,256)	34.9	39.1	28.9	34.3	13.5	22.9	48.0	36.6	26.4	1.4	6.3	8.9

4　高齢者のボランティア活動等に必要な行政の支援（複数回答）

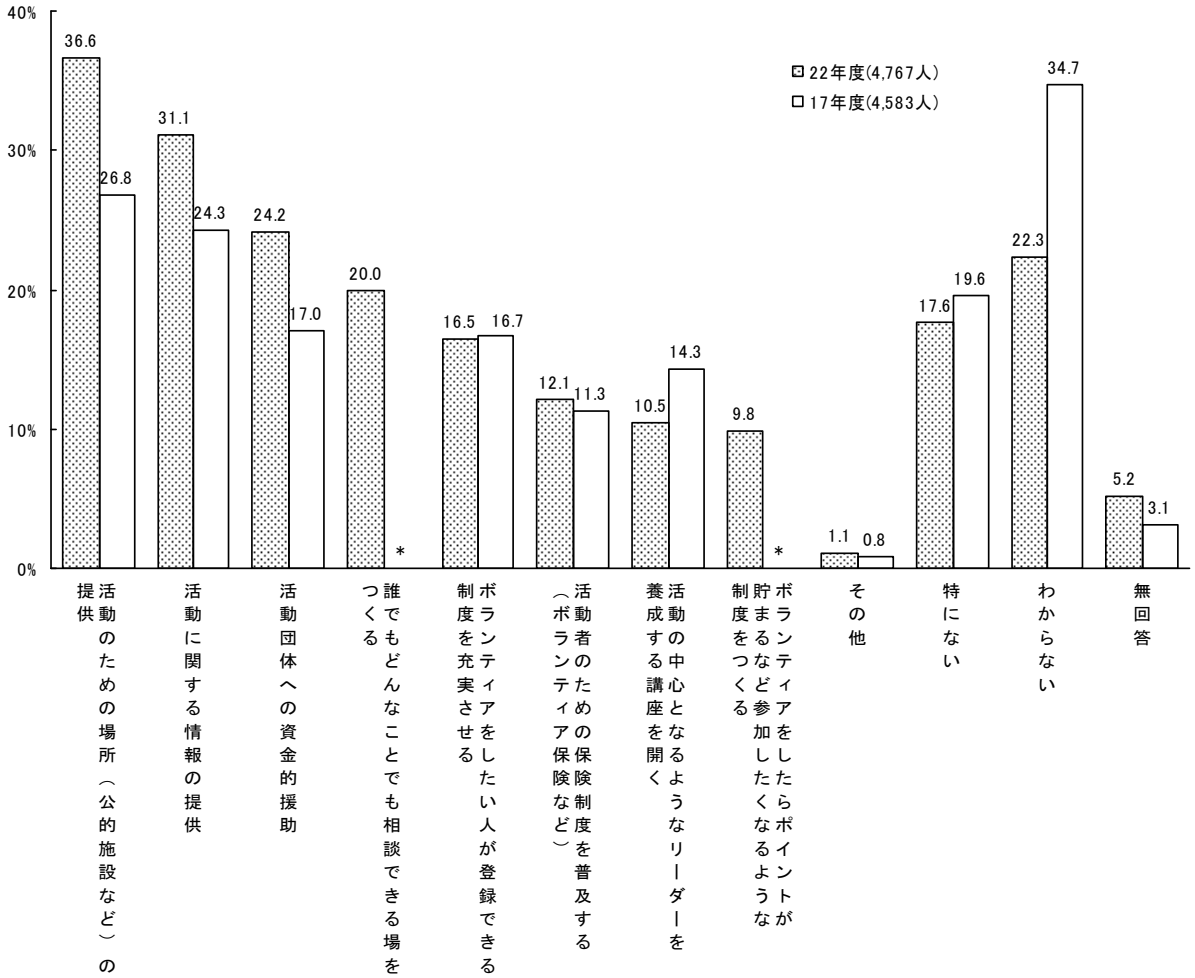
「活動のための場所（公的施設など）の提供」の割合が最も高く、36.6%

高齢者のボランティア活動等に必要な行政の支援について聞いたところ、「活動のための場所（公的施設など）の提供」の割合が 36.6%で最も高く、次いで、「活動に関する情報の提供」31.1%となっている。

17 年度調査と比較すると、「活動のための場所（公的施設など）の提供」の割合が 9.8 ポイント高くなっている。(図 8-5)

問　高齢者が行うボランティア活動、地域活動、NPO 活動をより盛んにするためには、どのような行政の支援が必要だと思いますか。

図 8-5　高齢者のボランティア活動等に必要な行政の支援（複数回答）



（注）＊は前回調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの。